

二本松訓練所に入所予定かつ訓練言語が「英語」以外の方へ

言語ごとの事前学習の必修ポイントは次の通りです。是非とも入所までの事前学習にお役立てください。

(言語名はあいうえお順です)

参考書等については、別途こちらをご参照ください→

[訓練言語「英語」のみなさまへ \(PDF/205KB\)](#)
[訓練言語「スペイン語」のみなさまへ \(PDF/90KB\)](#)
[訓練言語「フランス語」のみなさまへ \(PDF/110KB\)](#)
[上記以外の訓練言語の方へ \(PDF/169KB\)](#)

アラビア語	<p>eラーニングを何度も繰り返して、文字・基本単語 100・数字・挨拶等を記憶に定着させておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルファベット(独立形)を、順番通りに何も見ないでスラスラと書ける。 ・アルファベット(語頭形)を、順番通りに何も見ないでスラスラと書ける。 ・アルファベット(語中形)を、順番通りに何も見ないでスラスラと書ける。 ・アルファベット(語尾形)を、順番通りに何も見ないでスラスラと書ける。 ・基本単語 100 のアラビア語を見て、日本語訳を全て言える。 ・基本単語 100 の日本語を見て、アラビア語を全て言える。 ・基本単語 100 のアラビア語の綴りを全て書ける。 ・数字(0~10)を全てアラビア語で言える。 ・数字(0~10)を全てインド数字(アラブで使われている数字)で書ける。 ・挨拶にアラビア語で答えられる。 ・挨拶をアラビア語で書ける。
アラビア語エジプト方言(エジプトアラビア語)	<p>1. 文字を覚える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字(独立形)を、順番通りに何も見ないでスラスラと書け、発音できる。 ・文字(語頭形)を、順番通りに何も見ないでスラスラと書け、発音できる。 ・文字(語中形)を、順番通りに何も見ないでスラスラと書け、発音できる。 ・文字(語尾形)を、順番通りに何も見ないでスラスラと書け、発音できる。

	<p>2. 文字をつなげて書くことができ、読むことができる。</p> <p>3. eラーニング第3章の単語の意味を覚え、何も見ないで書け、発音できる。</p> <p>4. 数字(0~20)を言え、インド数字(アラブで使われている数字)で書ける。</p> <p>5. eラーニング第5章で紹介されている挨拶に答えられ、書くことができる。</p> <p>6. eラーニング第6章の文を使って、何も見ないで自己紹介ができる(口頭)。</p>
インドネシア語	<p>1. 基礎単語と基本的な語順(文型)を覚える eラーニング資料に記載されている基本単語リスト(名詞、形容詞、動詞などの入った 70 語)と基本文型をすべて覚える(練習問題を怠らずに繰り返し行いながら、声に出して読むことが大切)。 定型文や例文を参考にして、自分の知っている単語で言い換えられる柔軟性を身につけると、幅広く使えるようになり、楽しくなる。例えば、「私の先生の本 → あなたの先生の本」「彼はご飯を食べる → 彼は美味しいパンを食べる」などといった言葉を作り、それをインドネシア語に翻訳してみる(Google 翻訳や ChatGPT を活用し添削する)。</p> <p>2. 数字が言える 0 から 100 までのすべての数字を覚える。何も見ずに言えるように、用意された練習問題は全て繰り返し解き、その他に自分で作った数字を紙に書いて、それを声に出してインドネシア語で言う等の練習をする。</p> <p>3. 基本的な表現を言える eラーニング資料には、日常生活や教室でよく使われるいくつかの簡単な表現が記載されており、その右側に日本語訳が付いているので、声に出して何度も読むこと。続いて、日本語部分を隠したまま、インドネシア語を声に出して読んで、日本語訳を言えるようすること。さらに、インドネシア語の部分を隠したまま、日本語の表現を心の中で読み、インドネシア語訳を声に出して言えるようすること。</p> <p>4. 教科書の第1課をしっかり学習する 訓練所で使用されているインドネシア語教科書の第 1 課を日本語での説明付きで添付しているため、声に出して読み、日本語に翻訳し、しっかりと予習をしていくこと。事前にこの第 1 課を学習しておくこと、訓練所でのインドネシア語の授業がよりスムーズに進められるでしょう。</p>
クメール語	<p>1. eラーニング第2章の「子音文字の一覧表と発音」を全て暗記するまで、動画を真似して一つ一つ発音し、紙に書いて何度も練習する。そして、第 1 章の「有気音と無気音」、及び第 2 章の「A 子音字と O 子音字」を注意しながら、全部の読み書き(脚を含む)ができるようにする。</p> <p>2. eラーニング第5章の「母音記号の一覧表と発音(特別な読み方を含む)」、及び第 6 章の「独立体母音字の一覧表と発音」を全て暗記するまで、動画を真似して一つ一つ発音し、紙に書いて何度も練習し、全部の読み書きができるようにする。</p>

	<p>3. eラーニング第7章の「単語の読み方」にある単語がすらすらと読めるようにしておく。発音は動画を真似して、クメール語の子音と母音の組み合わせからクメール語発音ができるようにする。カタカナ読みの発音にならないようにする。できる限り意味を暗記しておく。</p> <p>4. eラーニング第8章の「数字の一覧表」にある数字をクメール語で言えるようにする。</p> <p>5. eラーニング第9章の「よく使う表現」を何も見ないで言えるようにする。</p> <p>6. eラーニング第10章の「基礎文法」で紹介されている文法を理解し、この教材で紹介されている単語を使って基本的な文を作れるようにする。</p>
スワヒリ語	<p>1. eラーニング第1章(あいさつ1~3)にある挨拶をすべて覚え、何も見ないで言うことができる。</p> <p>2. eラーニング第2章で紹介されている自己紹介文を参考にして、何も見ずにスワヒリ語で自分の自己紹介ができる。</p> <p>3. eラーニング第3章で紹介されている動詞を使い、第4章を参考に基本的な文を作ることができる。</p> <p>4. 数字0-30までを何も見ないで言うことができる。書くことができる。</p> <p>5. 曜日のスワヒリ語の名称を何も見ないで言うことができる。書くことができる。</p> <p>6. eラーニング第7章で紹介されている会話文(職種の表現を除く)を使い、自分に置き換えて会話することができる。</p> <p>7. eラーニング第8章で紹介されている疑問文に、何も見ないで答えることができる。</p>
タイ語	<p>1. IPA(国際音声記号)を見て、または音声を聞いて中子音字を書くことができる。</p> <p>2. IPAを見て、または音声を聞いて高子音字を書くことができる。</p> <p>3. IPAを見て、または音声を聞いて低子音字を書くことができる。</p> <p>4. 全ての子音字に対応するIPAを書けるようになり、それらの発音もできる。</p> <p>5. IPAを見て、または音声を聞いて母音字を書くことができる。</p> <p>6. 母音字に対応するIPAを書けるようになり、それらの発音もできる。</p> <p>7. 0から9までのタイ数字を書くことができ、表示されたタイ数字をアラビア数字に変換できる。</p> <p>8. 1億までの数字をタイ語で言えるようになり、タイ語で表された数を聞いてアラビア数字に書き起こすことができる。</p> <p>9. 事前学習で学んだ自己紹介やよく使う表現を、何も見ずにすべて自分で言えるようになる。</p>
テトウン語	<p>1. アルファベットを全てテトウン語の発音で言える。</p> <p>2. 単語をテトウン語の発音で読むこと、綴ることができる。</p>

	<p>3. eラーニング第2課の基本文法を用い、与えられた単語(基本単語①)を使ってテトウン語の文を作ることができる。基本単語①はできるだけ多く何も見ないで読み書きができるようにする。</p> <p>4. 数字0-100までを何も見ないで言うことができる、書くことができる。</p> <p>5. 第4課の疑問詞を使って、与えられた単語(基本単語②)を使ってテトウン語の疑問文を作ることができる。</p> <p>6. 第5課の日常表現を覚え、何も見ないでスラスラ言える。</p> <p>7. 曜日と月を何も見ないで言うことができる、書くことができる</p> <p>8. 自己紹介を何も見ないでスラスラ言える。</p>
フランス語	<p>1. eラーニング第1章のアルファベット(母音、子音)を、アクセント記号も含め全てフランス語発音で言える</p> <p>2. eラーニング第3章の挨拶を何も見ないで言うことができ、書くことができる。</p> <p>3. 数字1-19までを何も見ないで言うことができ、書くことができる。(余裕があれば 20, 30, 40 は音で覚えておく)</p> <p>4. 曜日、月、季節、日付、時刻を何も見ないで言うことができる。(余裕があれば書くことができる状態に)</p> <p>5. eラーニング第6章で紹介されている「etre」「 avoir」の現在形の活用を何も見ないで言うことができ、書くことができる。</p> <p>6. 動詞「etre」「 avoir」を使って、基本的な文(肯定、否定)を作ることができる。</p> <p>7. 動詞「etre」「 avoir」を使って、簡単な自己紹介ができる(出身地や自分の職種など)。</p> <p>8. eラーニング第7章にある「教室でよく使う表現」を聞いて理解ができる。何も見ないで自分から使うことができる。</p>
ベトナム語	<p>1. アルファベットを記憶に定着させる。 (母音、二重母音、三重母音、頭子音、末子音)をベトナム語で発音でき、何も見ないで書くことができる。 音声を聞いて6つの声調が、聞いて判別できる。 eラーニングで紹介されている単語をベトナム語の発音で読むことができる。</p> <p>2. 人称代名詞(単数・複数)を何も見ないでスラスラと書ける、言える。</p> <p>3. 1~30までの数字を何も見ないで言うことができる、音声を聞いて書くことができる。</p> <p>4. 曜日、週、月、年の単語を何も見ないで言うことができる、音声を聞いて書くことができる。</p> <p>5. 挨拶などeラーニングで紹介されている基本的な会話文を何も見ないで言うことができる、音声を聞いて書くことができる。</p> <p>6. ベトナム語の語順を理解し、eラーニングで紹介されている語彙を使って例文を作ることができる。</p>

ポルトガル語	<ol style="list-style-type: none"> 1. アルファベットを全てポルトガル語の発音で言える。 2. eラーニングで紹介されている単語を、ポルトガル語の発音で読むことができる。 3. 数字(基数と序数)1-20までを何も見ないで言うことができる。書くことができる。 4. 曜日、月のポルトガル語の名称を何も見ないで言うことができる。書くことができる。 5. 人称代名詞を何も見ないで言うことができる。書くことができる。 6. Chamar-se(呼ぶ)などの規則動詞の現在形の活用、また、不規則動詞「ser(～である)、estar(～である、～にある)、ter(～を持つ)」の現在形の活用を何も見ないで言うことができる。書くことができる。 7. 緑(verde)、赤(vermelho)、黄色(amarelo)などeラーニングで紹介されている色を言い、書くことができる。 8. eラーニング第2章で紹介されている基本的な挨拶にポルトガル語で答えることができる。基本的な挨拶をポルトガル語で何も見ないで書くことができる。 9. eラーニング第2章、第3章で紹介されている自己紹介文を参考にして、何も見ずにポルトガル語で自分の自己紹介ができる。
マレー語	<p>eラーニングを何度も繰り返して、文字・基本単語 100・数字・挨拶等を記憶に定着させておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子音と母音の音や発音を言える、聞き分けることができるようにする。 ・基本単語 100 のマレー語を見て、日本語訳を全て言える。 ・基本単語 100 の日本語を見て、マレー語を全て言える。 ・基本単語 100 のマレー語の綴りを全て書ける、読める。 ・数字(0~20)を全てマレー語で言える。つづりもマレー語で書ける。 ・挨拶にマレー語で答えられる。 ・挨拶をマレー語で書ける。
モンゴル語	<ol style="list-style-type: none"> 1. アルファベット(キリル文字)の読み書きがしっかりとできるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・大文字を、順番通りに何も見ないでスラスラと書ける。スラスラと読み発音することができる。 ・小文字を、順番通りに何も見ないでスラスラと書ける。スラスラと読み発音することができる。 ・小文字筆記体を、スラスラと読み発音することができる。 ・ブロック体と筆記体を何も見ないで、スラスラと読める。 2. 短母音、長母音や二重母音の形を発音できる、聞き分けるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・eラーニングにある単語の音声を聞いて、真似して同じように発音することができる。 ・eラーニングにある単語の日本語を見ながら、モンゴル語を言える。

	<ul style="list-style-type: none"> ・eラーニングにある単語をモンゴル語で書ける。 ・eラーニングにある単語のモンゴル語を見ながら、日本語訳を言える。 <p>3. 1-100 の数字をモンゴル語で言える。</p> <p>4. 1-100 の数字をモンゴル語で言え、書くことができる。</p> <p>5. 挨拶の表現をモンゴル語で言え、書くことができる。</p>
ラオ語	<p><子音> 必ずすべての子音字を覚える。 子音の文字を見たら、すぐにその子音の名前と音を言える。(発音の似ている子音はまだ完璧でなくてもかまわない) 子音の音を聞き、何も見ないでその文字を書ける。(音や形の似ている子音「ᠶ・ᠡ・ᠦ」に要注意)</p> <p><母音> 必ずすべての母音字を覚える。 母音を見て、その母音の名前と音を言える。(発音の似ている母音はまだ完璧でなくてもかまわない) 母音の音を聞き、何も見ないで書ける。(動画にある先生の口の形を見ながら練習する必要がある)</p> <p><声調> 声調記号をみて、それがどの声調を示しているか答えることができる。(「高い声で読む」等、どう読むか説明できる)</p> <p><音節の構成> 音節(子音+母音)を読める。(声調はまだ間違ってもかまわない)</p> <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・数字(0~10)を全てラオ語で覚える(読んで言える)。 ・数字(0~100)を全てラオ語で言える。 ・簡単な自己紹介(名前、出身地など)をラオ語で言えたり、答えたりできる。 ・時、曜日と月などをラオ語で言える。 ・日常生活に使う挨拶の言葉などをラオ語で読める。